

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 大学体育における学びと
教育環境の整備
コミュニティ・ケアセンター所長
総合教育研究部教授 竹田 幸夫
- 2018 年度「学生による授業アンケート」
(前期) 集計結果
- 「駒澤大学で自然科学を教える」
総合教育研究部教授
篠原 正雄
- 平成 30 年度第 1～3 回FD研修会報告
■ ICTを利用した「ルーブリック」
作成ワークショップ
■ 大人数科目におけるアクティブ・
ラーニングの事例紹介
- FD推進委員会今後の活動予定
- 2018 年度「公開授業」実施のお知らせ

大学体育における学びと教育環境の整備

コミュニティ・ケアセンター所長
総合教育研究部教授 竹田 幸夫

「先生！逆上がりができました！」こう言って、ある女子学生が小躍りして喜んだ。これは、私が担当する体育実技科目「健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）」での一場面である。その学生に聞くと、逆上がりは小学生のときになかなか習得できずに諦めてしまったという。大学生になって初めてできて、友人とともに感激して涙していた。きっと、友人が授けた逆上がりのコツやカンがその学生の「からだ」に響き、学びが促進されたのだろう。まさに、アクティブ・ラーニングの成果である。

大学の体育実技の目的としてまず考えられるのは、健康の増進・体力やコミュニケーション能力の向上であろう。別の視点からみるとスポーツの実践場面は、自らのからだを動かして動き方を身につける「身体知」を学ぶ場として捉えられる。近年中学校や高校における保健体育においても、運動の実施者のコツやカンをもとにした身体の知恵が注目されてきている。主体的に、そして深い学びが求められている大学の体育においても「身体知」は重要な要素である。

さて、本年度、種月館開館に合わせてカリキュラム改革が行われた。これに伴って、本学の体育を担当する私たちには頭の痛い課題が突き付けられた。「仏教と人間」と「英語 IB」が本校開講となり、玉川で開講される授業が保健体育科目だけになったことである。幸い本校一玉川間シャトルバスの運行やバス運賃の一部補助により学生への配慮がなされたが、この恩恵を受けることができない学生も少なくない。また、3年前には種月館を建設するに当たり6号館（体育館）が解体された。これに対しては第2研究館101教場という代替教場が用意されたものの、そこで実施できるのは軽スポーツに限られる。

スポーツ・健康科学部門では、授業改善と質の向上を目的に体育実技科目を受講した学生を対象にした独自のアンケート調査を毎年行っている。その結果によれば、「思いきり体を動かす喜びを感じたか」や「健康・運動・生涯スポーツの必要性を感じたか」といった健康・スポーツに関する設問に対して、受講生の約80%が肯定的な回答をしている（『総合教育研究部紀要』第11号）。このような学生と日々接している私たちとしては、玉川キャンパスとともに本校キャンパスの再開発の中で、学生の生き生きとした学びが促される教育環境の整備がなされることを望んでやまない。

2018 年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2018 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施期間 平成 30 年 6 月 4 日 (月) ~ 6 月 23 日 (土)
対象科目数 1,247 科目
対象者数 79,031 人 (延べ人数)
回答率 50.5%

【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報 (友人等) により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル (コース制等) を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割 (曜日時限) を考慮して決めた
- 1: その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5: 3 時間以上
- 4: 2 時間以上 ~ 3 時間未満
- 3: 1 時間以上 ~ 2 時間未満
- 2: 1 時間未満
- 1: 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0 回
- 4: 1 ~ 2 回
- 3: 3 ~ 4 回
- 2: 5 ~ 6 回
- 1: 7 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・

YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6~9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q21 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6~9・11・12・14・16~18 選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3：どちらとも言えない
 2：ややそう思わない
 1：そう思わない
 Q19. 教員自由設定質問（選択）
 Q20. 教員自由設定質問（記述）
 Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。
 Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
 Q23. 所属学部学科等
 20：仏教 19：国文 18：英米文 17：地理 16：日本史学
 15：外国史学 14：考古学 13：社会学 12：社会福祉学
 11：心理 10：経済 9：商 8：現代応用経済

7：法律A 6：法律B 5：政治 4：経営 3：市場戦略
 2：診療放射線技術科 1：グローバル・メディア
 Q24. 学年
 5：4年 4：3年 3：2年 2：1年 1：その他
 Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。
 11：一般入試 10：大学入試センター試験利用入試
 9：一般推薦入試・自己推薦入試
 8：スポーツ推薦入試 7：指定校推薦 6：付属校推薦入試
 5：留学生特別入試 4：帰国生特別入試 3：編入学試験
 2：その他の試験 1：回答しない

【学年別平均値】

表1はアンケート質問項目（Q2～18）の学年別平均値を示したものである。

表1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q2 平均値	1.6	1.6	1.5	1.7	1.7
Q3 平均値	1.7	1.7	1.6	1.8	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.8	4.0	3.3
Q5 平均値	4.6	4.5	4.5	4.1	4.4
Q6 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.4
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.3
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.4	3.7
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	3.7
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.0
Q12 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.0
Q13 平均値	4.3	4.2	4.2	4.3	3.7
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	3.8
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	3.9
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	3.5
Q17 平均値	4.0	4.0	4.1	4.3	3.6
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	3.7
有効回答数	16,315	10,878	4,975	1,749	62

【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした（回答率98.3%）。（表2 入学形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	2.3	1.8	1.7	1.5	1.7
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	2.4	1.9	1.9	1.6	1.8
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.4	3.7	3.8	3.9	3.8
Q5 平均値	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.5	4.6	4.3	4.3	4.7	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.4	4.7	4.7	4.5
Q7 平均値	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.4	4.8	4.7	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.5	4.8	4.2	4.6	4.6	4.4
Q9 平均値	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.6	4.1	4.3	4.1	4.0
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	4.3	4.3	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.3
Q12 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.4	4.2
Q13 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.7	4.1	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.7	4.1	4.4	4.4	4.2
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.7	4.3	4.5	4.5	4.3
Q16 平均値	4.0	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	3.9	3.9	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.5	4.0	4.1	3.9	3.8
Q18 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	4.0	4.0	3.9	3.7
有効回答数	18,003	3,074	2,735	1,034	3,961	3,184	682	122	332	281	571

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(教員所属学部) 学科専攻名	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.6	1.6	-
Q3 平均値		1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	1.2	1.2	-
Q4 平均値		4.1	4.1	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-
Q5 平均値		4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q6 平均値		4.6	4.6	-	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-
Q7 平均値		4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.8	4.8	-
Q8 平均値		4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-
Q9 平均値		4.5	4.5	-	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-
Q10 平均値		4.3	4.3	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-
Q11 平均値		4.7	4.7	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-
Q12 平均値		4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-
Q13 平均値		4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q14 平均値		4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-
Q15 平均値		4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q16 平均値		4.5	4.5	-	4.4	4.4	-	4.6	4.6	-
Q17 平均値		4.2	4.2	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-
Q18 平均値		4.5	4.5	-	4.3	4.3	-	4.3	4.3	-
有効回答数		109			78			72		

(学部) 学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.9	-	1.9	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.3
Q3 平均値		1.7	-	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.4
Q4 平均値		3.9	-	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	3.7
Q5 平均値		4.5	-	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5
Q6 平均値		4.5	-	4.5	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6
Q7 平均値		4.6	-	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.4	-	4.4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		3.8	-	3.8	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5
Q10 平均値		4.1	-	4.1	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値		4.2	-	4.2	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値		4.4	-	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q13 平均値		4.2	-	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q14 平均値		3.9	-	3.9	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5
Q15 平均値		4.1	-	4.1	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5
Q16 平均値		3.8	-	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値		3.7	-	3.7	4.1	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2
Q18 平均値		3.8	-	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
有効回答数		155			786			533		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.7	1.3	2.0	1.5	-	1.5	2.0	-	2.0
Q3 平均値	1.7	1.4	1.9	1.6	-	1.6	2.1	-	2.1
Q4 平均値	4.2	4.1	4.4	3.9	-	3.9	4.0	-	4.0
Q5 平均値	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4	4.8	-	4.8
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	-	4.7	4.9	-	4.9
Q7 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	-	4.8	4.8	-	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5	4.6	-	4.6
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3	4.0	-	4.0
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3	4.1	-	4.1
Q11 平均値	4.8	4.7	4.8	4.6	-	4.6	4.3	-	4.3
Q12 平均値	4.8	4.8	4.7	4.5	-	4.5	4.6	-	4.6
Q13 平均値	4.5	4.5	4.5	4.0	-	4.0	4.3	-	4.3
Q14 平均値	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4	4.3	-	4.3
Q15 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5	4.4	-	4.4
Q16 平均値	4.3	4.2	4.5	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0
Q17 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	-	4.3	4.0	-	4.0
Q18 平均値	4.2	4.0	4.4	4.1	-	4.1	4.1	-	4.1
有効回答数	232			245			68		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.4	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3
Q3 平均値	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	4.1	3.8
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
Q11 平均値	4.1	4.3	4.1	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5
Q12 平均値	3.7	4.3	3.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.3
Q13 平均値	3.8	4.0	3.7	4.0	3.9	4.1	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	3.8	4.1	3.7	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	3.9	4.2	3.8	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4
Q16 平均値	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
Q17 平均値	3.8	3.9	3.8	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	3.9
Q18 平均値	3.6	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8
有効回答数	539			967			1,216		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値		1.6	1.5	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値		3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8
Q7 平均値		4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.7
Q9 平均値		4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0	4.4	4.3	4.5
Q10 平均値		4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.5
Q11 平均値		4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6
Q12 平均値		4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.6
Q13 平均値		4.2	4.4	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.4
Q14 平均値		4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値		4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q16 平均値		4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値		4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.3
有効回答数		3,812			2,428			1,983		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.5	1.6	1.5	1.7	1.9	1.5	1.5	1.4	1.6
Q3 平均値		1.6	1.7	1.6	1.8	1.9	1.7	1.6	1.5	1.7
Q4 平均値		3.6	3.4	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.7	4.0
Q5 平均値		4.3	4.0	4.3	4.4	4.3	4.4	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7
Q7 平均値		4.6	4.7	4.6	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7
Q8 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6
Q9 平均値		4.3	4.4	4.3	4.1	4.2	3.8	4.1	4.0	4.2
Q10 平均値		4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1	4.4
Q11 平均値		4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.5
Q12 平均値		4.6	4.7	4.6	4.4	4.6	4.0	4.3	4.1	4.6
Q13 平均値		4.1	4.3	4.1	3.9	4.0	3.8	4.1	4.0	4.2
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4
Q15 平均値		4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5
Q16 平均値		3.8	4.0	3.8	3.7	3.8	3.4	3.8	3.7	4.1
Q17 平均値		3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	3.6	3.9	3.7	4.2
Q18 平均値		3.9	3.8	3.9	3.6	3.7	3.5	3.9	3.8	4.1
有効回答数		312			500			1,602		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	1.7	1.6	1.9
Q3 平均値	1.6	1.7	1.6	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.9
Q4 平均値	3.7	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
Q5 平均値	4.6	4.6	4.4	4.8	4.8	4.8	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7
Q8 平均値	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.6	4.5
Q9 平均値	3.9	3.8	4.2	4.3	4.2	4.5	4.1	4.2	3.9
Q10 平均値	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.5	4.1	4.2	4.0
Q11 平均値	4.3	4.2	4.4	4.6	4.5	4.7	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値	4.0	4.0	4.2	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値	3.9	3.9	3.9	4.3	4.2	4.6	4.2	4.3	4.1
Q14 平均値	4.1	4.0	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.5	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.6	3.6	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	3.7	3.7	4.2	4.1	4.1	4.3	4.0	4.1	3.9
Q18 平均値	3.7	3.6	3.9	4.0	4.0	4.2	3.9	3.9	3.8
有効回答数	1,414			1,071			2,530		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.4	1.2	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.4	1.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値	3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1
Q5 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.7	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7
Q8 平均値	4.6	4.4	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値	4.4	4.3	4.6	4.2	4.3	4.1	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	4.3	4.7	4.7	4.5
Q12 平均値	4.3	4.4	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.3
Q13 平均値	4.1	4.3	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.1
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.3
Q15 平均値	4.5	4.3	4.6	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.2
Q16 平均値	4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q17 平均値	4.2	3.9	4.4	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.1
有効回答数	342			2,923			1,029		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.9	1.8	2.0	1.9	1.7	2.1	1.4	1.4	-
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	2.1	1.4	1.4	-
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	4.1	4.1	-
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-
Q6 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-
Q7 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	-
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	-
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.6	-
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-
Q11 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-
Q12 平均値	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	-
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-
Q14 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.7	4.7	-
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	-
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.4	4.4	-
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	-
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.3	4.3	-
有効回答数	4,952			2,639			407		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.1	4.0	4.1
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.7	4.8	4.6
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.5	4.6	4.4
Q11 平均値	4.6	4.7	4.5
Q12 平均値	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値	4.4	4.6	4.2
Q14 平均値	4.5	4.6	4.4
Q15 平均値	4.5	4.6	4.3
Q16 平均値	4.2	4.3	4.1
Q17 平均値	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.1	4.2	4.1
有効回答数	942		

2018 年度「学生による授業アンケート（前期）」 集計結果の概況について

2018 年度の「学生による授業アンケート」（前期）は、平成 30 年 6 月 4 日（月）から 23 日（土）の期間にかけて実施された。

今年度前期アンケートは、全ての実施科目において、学生自身が回答をした科目について、自由設問以外の集計結果を閲覧可能になり、授業アンケート結果に対しての担当教員からのコメントを入力できる機能についての利用は任意とし、新たな機能が加えられた。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で 1,247 科目、対象者数（述べる人数）は、79,031 人、回答率は、50.5%であり、2017 年度前期は 49.7%であった為、前年度よりは、0.8%と若干ながら上昇した。以下、全般的傾向についての概況を述べていく。

学年別の回答率は、例年同様に学年が進むにつれて回答率が右肩下がり傾向であるが、単純に学年での比較は難しいが、昨年度前期の回答率を学年別で見ると、70.8%→72.3%（1 年生）、50.1%→50.4%（2 年生）、32.9%→35.2%（3 年生）、18.9%→19.6%（4 年生）と全ての学年で上昇している。

教員の所属別の学生回答率一覧を見ると、仏教学部、文学部（英米文、歴史、心理）と総合教育研究部（外国語第一部門、外国語第二部門）が 60%以上の回答率であり、その中でも仏教学部の 89.9%は、昨年度前期の 46.6%から大きく上昇し、全体の中でも最も高い回答率を示している。

専任・非常勤別の学生回答率は、専任が 47.2%、非常勤が 54.1%と昨年度同様に非常勤担当科目の方が、学生回答率が高い値を示している。昨年度前期 11.2%（専任 44.4%、非常勤 55.6%）あった差が、今年度前期は 4.9%と昨年度前期に比べ小さくなっている。

アンケート対象科目を担当する教員の C-Learning への最終ログイン状況（7 月 2 日現在）を見ると、専任の実施期間内のログインが 29.5%、実施後のログインが 31.8%、未ログインが 3.6%となっている。一方非常勤では、実施期間内のログインが 21.8%、実施後のログインが 28.1%で、未ログインが 13.6%となっている。その中でも昨年度前期に比べ実施期間内でのログイン状況が、専任・非常勤共に 14.9%→29.5%（専任）、18.1%→21.8%（非常勤）と実施期

間内でのログイン状況が改善された事で、アンケート後の授業に生かされたのではないと思われる。

質問事項については、25 項目で実施され、質問を 1 項目増やしたことを含め 2 点の修正が行われた。

①設問 2・3 の選択肢に「全くしていない」を追加し、併せて、従来の「4 時間以上」を「3 時間以上」とし、選択肢を 5 項目とした。②教員自由記述設問を追加。具体的な内容は別途記載の通りである。

授業の予習・復習（Q2・3）、授業に熱心に取り組んだ（Q4）の設問では、共に 4 年生が高い値を示しており、半期卒業、就職活動等の影響が考えられる。

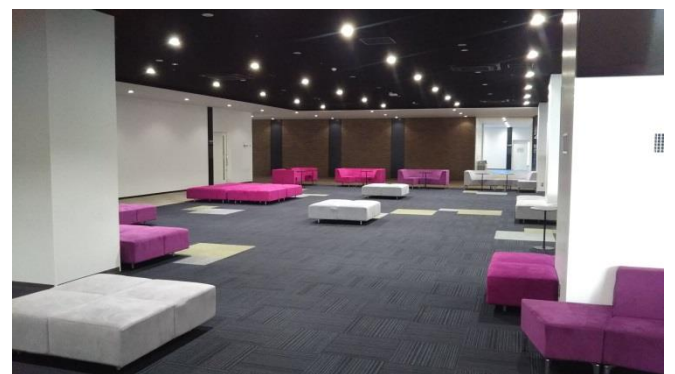
学生の出席状況（Q5）は、4.6（1 年生）、4.5（2 年生）、4.5（3 年生）、4.1（4 年生）と全学年共に比較的高い値を示している。また、学部学科別では、医療健康科学部と文学部（考古学）が 4.8、文学部（日本史学・国文）が 4.7 と高い結果となっている。

授業の開始（Q6）は、全学部学科で 4.5～4.9、授業回数の確保（Q7）も同じく 4.5～4.9 と授業回数が確保され、同時に定刻通りに実施された結果であった。

教員の熱意・授業内容・運営（Q10～Q15）は、有効投票数が大きく異なるが、上級生になるにつれ、履修科目選択の自由度が増す為、全ての項目で 4 年生が高い値を示したと考えられる。

以上が、2018 年度「学生による授業アンケート」（前期）の概況である。今年度前期のアンケートから 2 点の修正が行われたが、今後も回答率等に関しての動向を見守る必要はあるだろう。今回の集計結果を個々でも分析・評価・検討して頂き、今後の授業改善に役立てて頂ければ幸いである。

（総合教育研究部准教授・岩本 哲也）



（3 号館（種月館）2 階ラウンジ・「ウイステリア」）

連載企画：よりよい教育のために

「駒澤大学で自然科学を教える」

総合教育研究部 自然科学部門教授
篠原 正雄

かつて、「自然科学概論」という科目があった。初回講義で科目名の説明をし、高校の科目で言えば理科なのだと言った途端、失望の空気が教場に満ちる。科目名に魅かれてとって見たのに「理科」とは。今もそういう駒大生は多い。「物理学」を中心に、駒澤大学生に自然科学を教える体験の一端を紹介する。

担当科目の一つが「宇宙科学」である。宇宙への興味に応えながら知らぬ間に物理に触れてもらおうと考えている。宇宙の研究は物理学であることを初めに一応語る。あとは画像を用い、身近な事柄からの類推で分かったつもりになってもらうのだが、時々陽に物理が顔を出してしまうようである。

以下は「物理学」という講義について述べる。理科嫌いが最も嫌う科目である。今年度前期は計 300 名近くが受講した。受講の積極的な動機には「物理は苦手だが少しはわかるようになりたい」「数学で挫折し文系に進路変更したが実は理系に興味がある」など再挑戦型が多い。「ブラックホール」など特定テーマへの関心もある。「理数系は得意」な者も稀にいる。


基本的な法則を定性的に理解してもらうことを目標とし、数式を極力使わないようにしてきた。もっと先を学びたい者は個別に指導した。講義と小テストを繰り返す形式だが、数年前より YeStudy での練習問題を組み入れた。講義、YeStudy、小テスト、試験の連携は、完成にはまだ遠い。

対象学部・学科が増え受講生が増したとき、「光」を講義の中心に据えた。教場に暗幕を張っていただき、例示実験を交え、講義を行った。器具を持参し準備や後片付けの時間もなく行えることは限られているが、手応えはあった。

通年科目を半期に組み替えたとき、また内容を組み替えた。物理学 I は社会人となっても知っておくべき物理学ミニマム、II は現代物理入門と称して量子論と相対論をとりあげた。物理学 II は I よりもず

っと定性的な話となり、講義の最後の感想には「IIの方がわかりやすかった」と書く者が意外に多かった。

事前登録の抽選で I を履修できない II 受講者が続出した。そのため、I の知識を前提とできず、II の受講生にもゼロから学びなおしてもらおうほかなかった。そこでいっそ、I は量子論、II は相対論とするのも手かなと思いはじめている。現代物理入門と言っても、実際には前提となる古典物理の初歩を学ぶ部分が大半を占める。「力が働かなければ止まる」と思う学生を「力が働かなければ動き続ける」慣性の法則に導かなければ相対論の出番はない。新しいことを学んでいる気持ちにさせて実は初歩の初歩を復習する。私は今年度で最後。後期の講義でその縮刷版を試して締めくくろうかと思う。

 平成 30 年度 第 1~3 回 F D 研修会報告

第 1・2 回 F D 研修会

「ICT を利用した『ループリック』作成
ワークショップ」

5 月 30 日（水）、31 日（木）の 2 日間、平成 30 年度第 1・2 回 F D 研修会が開催されました。この 2 回は、「ICT を利用した『ループリック』作成ワークショップ」という同じテーマでの研修を 2 回行う形で、合計 49 名の教職員が参加して行われました。講師は、経済学部教授 小林正人先生、経営学部教授 中川淳平先生、医療健康科学部講師 馬込大貴先生（いずれも本学 F D 推進委員会委員）。総合情報センター・e-コンシエルの津野未来子さんでした。

私は 2 日目に参加しましたが、まずは中川先生よりループリックとは何か、ループリックを使用することによってどのような教育効果があると考えられているかなど、一般的な紹介がなされました。その後、実際に YeStudy で作成されたループリックの事例紹介がありました。次に、総合情報センター・e-コンシエルの津野さんより、YeStudy を使ったループリック作成方法についての説明があり、最後に、馬込先生が実際に医療健康科学部のレポート評価で利用されているループリックについての詳しい事例紹介がありました。

馬込先生の事例紹介では、採点作業が効率的に楽

にできるようになったこと、学生に評価軸を示すことができるなどの利点が紹介されました。さらに、馬込先生が最後におっしゃっておられた、「ルーブリックを使ったからと言って点数が全体的に上がったという実感はまだなく、学生の主体的な学修につながっているかという面に関しては、ルーブリックだけでなく、何か他の物も必要なようだ」という主旨のお話が、私は印象に残っています。

参加された先生方へのアンケート結果では、約 6 割の方が、今後ルーブリックを活用してみたいと回答されていました。一方で、活用してみたいが使い方がよくわからないというご意見も一定数あり、研修会で、そのような技術的な研修をもう少し時間をとって行う事も考えて良いのではと思われました。

私はこの研修の後、担当している「コンピュータ基礎」でのビジネスメール作成課題および「新入生セミナー」でのプレゼン発表において、ルーブリックを作成し、事前にどういった評価軸になるかを学生に示したところ、どちらの講義でも 8~9 割の学生がルーブリックを参考にして課題などに取り組んだとのことでした（学生による授業アンケートにおいて「どの程度ルーブリックを参考にしたか」アンケートを行った結果より）。まだ 1 回しか試していないため、その効果は定かではありませんが、少なくとも自分たちがどのような評価軸で採点されるかを確認できることは、学生にとって一定のメリットはあるようです。また、研修会でも紹介されていたように、一度ルーブリックを作成してしまうと、評価作業はとても効率的に行う事ができました。今後、これらを改良しながらしばらく試行錯誤をしていきたいと思える手応えはあったように思います。



(第 1・2 回研修会の様子)

第 3 回 F D 研修会

「大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介」

第 3 回の F D 研修会は、7 月 30 日（月）、「大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介」をテーマとして開催されました。参加された教職員は 33 名、今回は、私は講師の一人として参加させていただき、経営学部教授の中野香織先生と共に、担当している大人数講義（150 名以上の受講生がいる講義）におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介を行いました。

まずは、私から全学共通科目である「自然環境論 I・II」（受講生 150~250 名）において行っているアクティブ・ラーニングの事例紹介を ICT ツールを用いたものと、紙ベースで行う形のものに分けて紹介しました。紙ベースのものについては、実際にその場で参加した教職員の方々に体験していただき、その様子や雰囲気を見ていただきました。その後、アクティブ・ラーニングとは直接関係がありませんが、特に大人数講義では役に立ちそうな、YeStudy の名簿から、KONECO の名簿エクセルへ成績をコピーする方法を紹介いたしました。

つぎに、中野先生よりご担当の「マーケティング・コミュニケーション論」（受講生約 420 名）で実際に行われたグループ・ワークのご紹介がなされました。中野先生のお話で、「特に大人数の場合、事前の準備が重要であり、グループ・ワーク当日はできる限りそれだけが出来るようにアレンジすること」、「自分がどのグループになったかなども学生に ICT ツールを用いて登録させる（手作業で行うのはたいへんな手間）」、「大学で公開している教場の座席表を利用する」などといった大人数でアクティブ・ラーニングを行う際の、現場に即したノウハウが多数紹介されました。教育効果として、学生自身が楽しんでやっているようであることと、他の学生の意見などを聞き、そこから新たな理解や発見に繋がるなどが挙げられるとのことでした。

第 3 回の研修会については、大学のウェブよりビデオアーカイブを見ることができるようになっています。これは時間のあるときに、自由に確認できるためたいへん便利です。ぜひお時間のあるときに、ご覧になっていただければと思います。こちらのアンケート結果でも、アクティブ・ラーニングについて

て、6割近い先生方が、人数にかかわらず試してみたい（または実践されている）とのご回答がありました。また、第1・2回を含め、学内の教員による事例紹介は参考になるとの意見が多くありました。



(第3回研修会の様子)

総評

これら3回のFD研修会でも、日頃のFD推進委員会でも、いろいろな先生方がもっているノウハウや事例をビデオアーカイブ、ファイル共有、その他の方法で全学的に共有できれば、かなりの財産となるのではないかという意見や話が出ています。かつてあったToDay (YeStudy教員ユーザ会：平成28年9月末日廃止)はそういった学部・学科間を超えた教員の情報共有の場として一定の役割を果たしていたように思います。ですので今後、さらにFD研修会を通して、また他の何かの形で、情報共有の場が増えていくことは、より良い教育活動に着実に繋がっていくように感じています。

(総合教育研究部教授・坂野井 和代)

FD推進委員会の今後の活動予定

○平成30年度第4回FD推進委員会小委員会
平成30年10月15日(月)16:20～

○平成30年度第2回FD推進委員会
平成30年11月6日(火)16:20～

○平成30年度第4回FD研修会
平成30年11月上旬

テーマ：身近な授業に活かす反転授業
～YeStudyとC-Learningを使って～

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

2018年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り11月中旬から12月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術(教授法)について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。



(3号館(種月館)5階「空のテラス」)

～2018 年度「学生による授業アンケート」
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：平成 30 年 11 月 5 日 (月) ～24 日 (土)

対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、
受講生が 20 名未満の科目は除く)

※WEB によるアンケートを実施しています

(PC、スマートフォン、携帯電話、タブレット等
を使用して回答されます)。



※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



編集後記

『FD NEWSLETTER 第 56 号』をお届けいたします。

巻頭言は、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門でコミュニティ・ケアセンター所長の竹田幸夫先生にご執筆頂きました。また、連載企画「よりよい教育のために」は、総合教育研究部自然科学部門の篠原正雄先生にご執筆頂きました。お忙しい中、ご執筆いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

大学のウェブ上にある、FD のページが整理され、これまでより見やすくなりました。FD NEWSLETTER のバックナンバーや、FD 研修会のビデオアーカイブなどにもアクセスできますので、紙の FD NEWSLETTER などと合わせて、一度、ご覧いただければと思います。

今回の「学生による授業アンケート」(前期)から、2 点の修正が行われ実施されましたが、大幅な回答率改善には至りませんでした。今後の動向を見守りながら、更なる改善も必要になるでしょう。

また、多くの教職員の方に F D 活動に関心を持って頂き、ご協力いただく事で、さらなる教育活動の発展に繋がるのではないかと思います。

(坂野井和代・岩本哲也)

【タイトル横の写真は、
平成 30 年 4 月に完成した 3 号館 (種月館)】

FD NEWSLETTER Sep. 2018 第 56 号

発行日：2018 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)